

神奈川学園が育む 「自立」の本質



神奈川学園は1914年の創立以来、「自立」した一人ひとりの育成に努めてきました。その理念は現代にも受け継がれています。情報があふれ、複雑化する現代において「自立」に必要な力として「リサーチ・リテラシー」と「グローバル・シチズンシップ」を位置づけ、新たな時代にもしっかりと自らの歩みを進められる人を育成します。



創立者
佐藤 善治郎

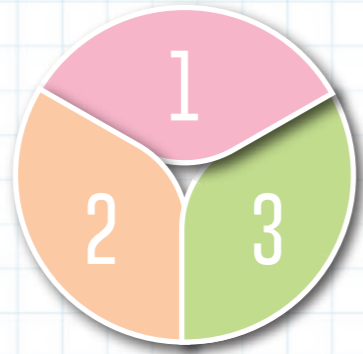


神奈川学園中学・高等学校
校長 及川 正俊

未来を「自分らしく」生きるために — 神奈川学園の6年間

地球環境の激変、驚異的なAIの進化、国家や民族の対立。今、世界は大きな変化の中にあり、問題が山積しています。こうした世界の中で、これからの未来を自分らしく、豊かに生きていくためには、しっかりと理想を持ちながら、地に足をつけて歩いていくことが欠かせません。神奈川学園は、そんな「自立」の力を育てます。

「自分らしく」生きるための **3つの力**



1 自立



創立者の佐藤善治郎は、神奈川学園創立にあたり、「女子に判断する力を与ふこと」「女子に生活の力量を与ふこと」を目標に掲げました。すなわち、あらゆる場面で適切な判断をし、自分の力で生きていくことのできる「自立」した一人ひとりを育成しようと考えたのです。この理念は、今も本校の教育の中に受け継がれています。

2

リサーチ・リテラシー



世界には膨大な情報があふれています。現代に生きる私たちは、その多様で雑多な情報の中から必要とするものを選び取り、複数の情報を組み合わせて分析し、判断していくことが求められます。これからの社会には必要な情報を探し、選び、最適な知識で判断する「リサーチ・リテラシー」の力が欠かせません。

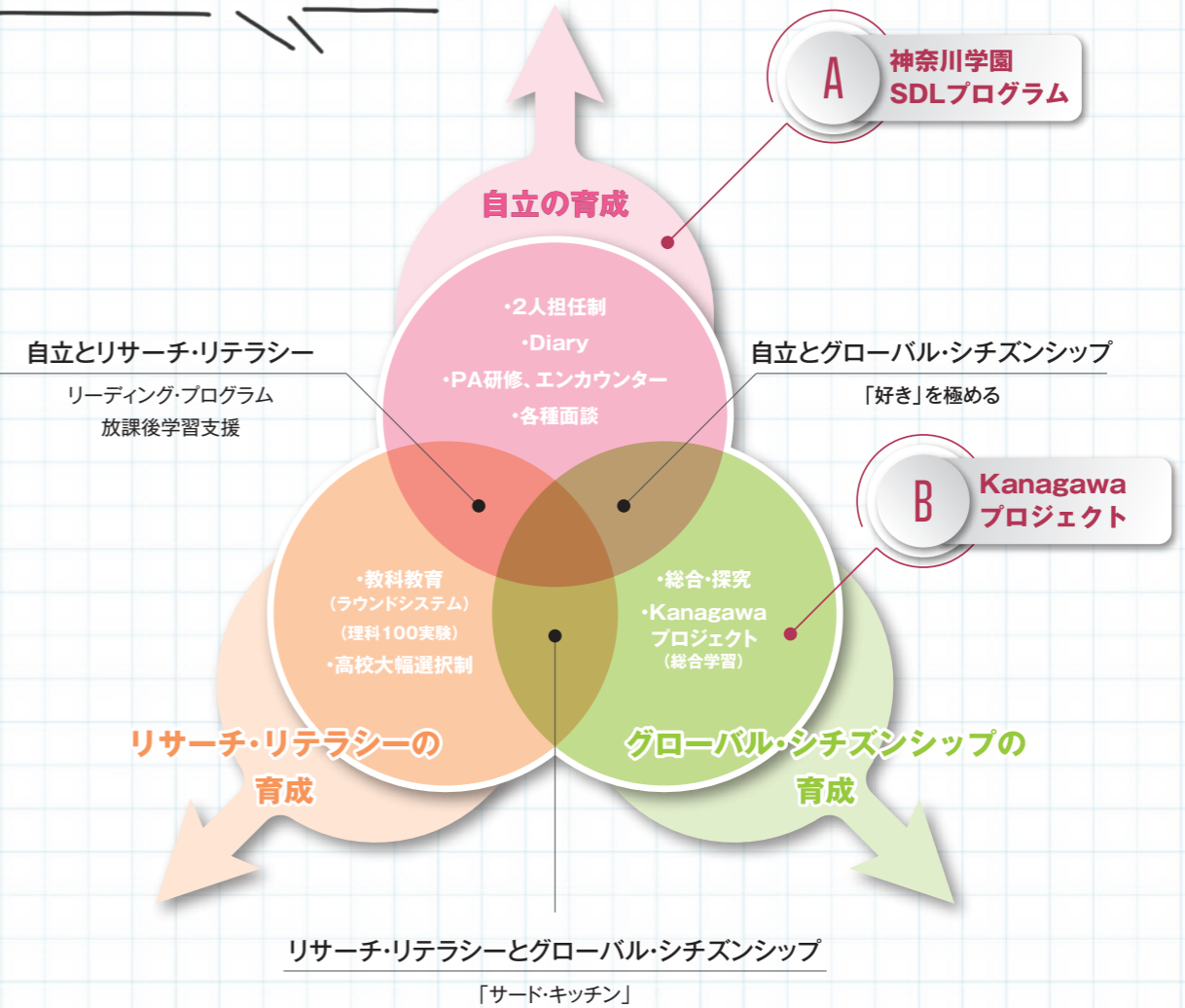
3

グローバル・シチズンシップ



2020年から世界を席卷した新型コロナウイルスの猛威は、図らずも世界がつながることを改めて明らかにしました。情報の上でも物流の上でも人との交流でも、現代に生きる私たちは世界とつながる中で生きています。そんな時代に必要な地球的な視座である「グローバル・シチズンシップ」を多様な経験を通して育てます。

3つの力を育成するおもな取り組み



自ら判断し、探究を続け、 未来を拓く力を育む

神奈川学園は2026年度よりSDL (Self-Driven Learning) プログラムを導入しています。「SDL」がめざすのは、自ら疑問を見出し、その解決に向けて探究しつづけられる人の育成です。従来実践してきたKanagawaプロジェクトに加え、新たなプログラムの導入によって、より時代の要請に応えたカリキュラムを展開していきます。



神奈川学園のSDLプログラム

部活動

神奈川学園には30の部(同好会含む)があります。平日の活動をさらに極めるために、土曜日に部活動を行うことができます。なお、部の活動日は多様ですので、土曜日に活動があるかどうかは選んだ部によって異なります。



週末自習室

「充実した授業をほんとうの意味で自分のものにするために、復習の時間はどうしても必要」という卒業生たちの言葉を受けて開室するのが「週末自習室」。大学生メンターが、自習室を管理し、質問を受けたり講座を実施したりします。

DESIGN SATURDAY



KG OPEN HUB

通常の授業では経験できないような多様な取り組みを実施するのが、特別土曜講座である「KG OPEN HUB」。本校教員はもちろん、大学の先生やさまざまな専門家の方のお力もお借りし、開講します。初年度は170あまりの講座を実施します。

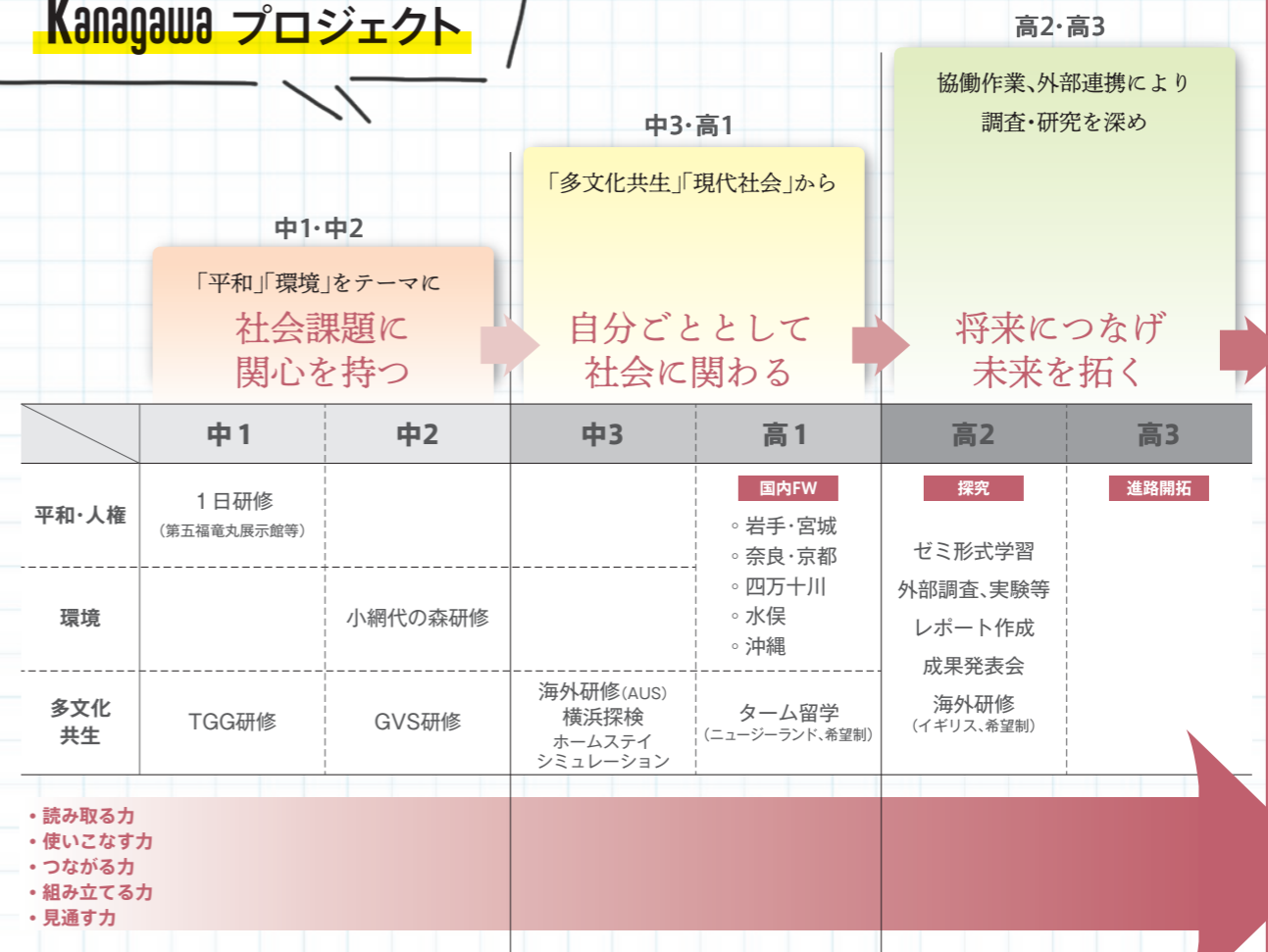
SDLプログラム導入の背景

これまで週6日の授業を行う中で、生徒やご家庭から「授業や学校生活はとて充実しているけれど、もう少し週末にゆとりがあれば」という声を頂くこともありました。また、教職員も、もう少し生徒が好きなことに打ち込める時間があればもっと伸びるかもしれないとも考える部分がありました。今まで以上に充実した学校生活と力が伸びる環境に——そうした判断からSDLの導入に踏み切りました。

SDLプログラムの基本構造

SDLの柱は、「デザインできる土曜日」と「授業5日制」です。土曜日は、例えばボランティア活動など、自分の「テーマ」があればそれに打ち込むことも可能ですし、学校で「部活動」「KG OPEN HUB」「週末自習室」を自由に選択することもできます。そして、授業は平日5日、7時間で実施します。授業の質と量は6日制のまま、自由にデザインできる土曜日を導入したのが、SDLプログラムです。

Kanagawa プロジェクト



自立と判断力、より良い社会を作り出す女性へ

総合・探究

グローバル・シチズンシップ育成の核となる「Kanagawaプロジェクト」は本校オリジナルプログラム。社会の課題や現状を体感とともに知り、自分はこの社会の中でどのように生きていくのかを考えていきます。中1から段階的に積み上げていく面と、自分の興味関心をとことん掘り下げる面の二つの要素を兼ね備えたプログラムです。



「自立した人」へ



理想を持ちながら、
その実現に向けて着実に歩んでいける人
—— 神奈川学園は「自立した人」を
そのようにとらえています。
ときに寄り添い、ときに見守りながら、
自立への「道しるべ」を示します。



中学2人担任制

「自立」へ向かうために、ある時期までは大人の伴走も必要です。多感で、ときに揺れ動くこともある中学時代は2人担任制を採用。2人の担任が一人ひとりを見守ります。



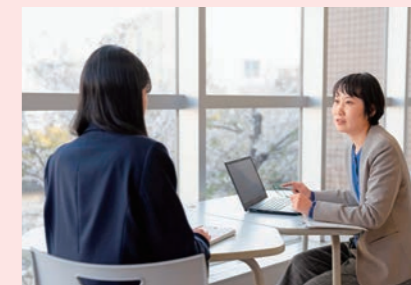
Diary

毎日担任とやりとりをする「Diary」。学習計画表であり、1日1日の記録でもあります。担任がアドバイスやコメントを書いて返却します。



エンカウンター&PA研修

友だちと「出会う」仕掛けのエンカウンター。PA研修ではクラスメイトと「ミッション」に取り組みます。友だちとの出会いは同時に、自分自身を知る機会でもあります。



面談

神奈川学園は、面談の多い学校です。中学時代は主に生活や学習について、高校では進路選択について話す機会が増えます。面談を通して目標や課題を確認し、生徒は「その先」へ。

Students' Voices

安心できる2人担任制

中2 S.H



中3までは、各クラスに担任と副担任の先生が1人ずつきます。そのため、先生方との距離が近く感じられ、悩み事なども気軽に相談することができます。2人の先生からは、それぞれ異なる視点で多様なアドバイスをいただくことができ、解決につながりました。また、普段から先生との距離が近いので、質問もしやすい環境があります。私は入学当初、質問することが苦手でしたが、学校生活を送る中で少しずつできるようになりました。このような環境の中で、充実した楽しい1年間を過ごすことができました。

自分を前向きにできたPA研修

中2 S.T



私はもともと積極的な方ではないため、入学当初は友達ができるか不安でした。PA研修では、与えられたミッションに対して皆で試行錯誤しながら協力し合い、クラスの団結力が深まったように感じました。大自然の中で普段見ることのない動物を見かけたり、これまで話したことのない人と会話したりすることができ、とても楽しく充実した一日を過ごしました。この活動を通して友達も増え、自分から行動できるようになり、学校生活がさらに楽しくなりました。



リサーチ・リテラシー

物事を正しく判断するための土台になるのは、論理的な思考力と豊かな知識。教科教育を通してしっかりとした土台を創りあげた上で、新たな時代の課題に対応する力も育てます。



KG流ラウンドシステムの英語

神奈川学園の英語は発話を大事にするラウンドシステムに加え、文法のカも伸ばす「KG流」オリジナルカリキュラム。このカリキュラム導入後、英語検定の結果も大きく伸びました。



「100実験」の理科

本校の理科は教科書で学ぶだけでなく、徹底的に実験・観察にこだわります。中学3年間で100以上の実験を実施。日常生活と密接に関わる教材を扱う数学との相乗効果もあって、理系に進む卒業生も多くいます。



「教科」を超えて

本校では中学3年生の3月に全員参加の海外研修が実施されます。その事前学習をかねて、小説『サード・キッチン』を読み込みます。世界の共生について考える取り組みです。



放課後学習支援

本校の下校時間は18時ですが、校内自習に取り組む場合は中学生は19時まで、高校生は20時まで自習室を利用できます。大学生メンターが個別の質問などに対応してくれます。

Students' Voices

考えを深められる授業

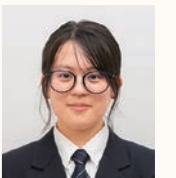
中3 T.M



神奈川学園の授業では、グループワークなど友達と話し合う時間が多く設けられており、意見を交換しながら学習が進められています。特に理科では実験など体験型の授業が多く、班で協力しながら取り組んでいます。また英語ではゲームや音読を通して楽しく学ぶことができ、学習への意欲も高まります。互いの意見を聞き合いながら自分の考えを深めることができる授業だと思います。

自分の可能性を広げる講演会

高2 I.F



神奈川学園では毎年、図書委員会が企画する図書講演会があります。講演会では、講演者の方々の活動やテーマについて深く学ぶことができます。去年はフォトグラファーのヨシダナギさんをお招きしました。講演会は講演者の方々の経験談を通して、新しい視点や学びに出会うことができる、自分自身の可能性を大きく広げられる貴重な機会だと感じています。

グローバル・シチズンシップ

現代の課題のほとんどは世界につながっています。未来を生きていく生徒たちには、地球的な視座が欠かせません。本校では多様な経験や取り組みを通して、地球的な視座と心性を育てます。



平和・環境を学ぶ研修(中1・中2)

これからの時代に必要な知識と経験は全員が共通して持つことをめざします。中1は第五福竜丸展示館学芸員の方のお話を聞き、現地へ。中2は小網代の森で環境について考えます。



多文化共生を考える海外研修(中3)

中3でオーストラリアに赴く海外研修は全員参加。1週間のホームステイと現地校での授業を体験します。英語を駆使して気持ちを通い合わせる経験は、生徒の視野を広げます。



国内フィールドワーク(高1)

現在の日本の姿を知り、課題について考える国内フィールドワーク(FW)。沖縄、水俣、四万十川、奈良・京都、岩手・宮城の5方面に分かれ、現地で活躍する方々とお会いします。



高大連携

大学との連携も進んでいます。東京薬科大学、麻布大学、東邦大学看護学部、フェリス女学院大学、日本女子大学の計5校と連携協定を締結。KG OPEN HUBや探究の授業、大学施設の見学、授業体験等にご協力をいただいています。

Students' Voices

貴重な体験

高1 S.K



オーストラリアでは日本では習わない略語や表現があり、それらを聞いて覚えていくうちにコミュニケーションが段々とスムーズになりました。自分の英語の力に自信がついたように感じます。また、交流の中で、オーストラリアの社会に日本食やアニメなど日本の文化が浸透していたことが印象的でした。今回の研修では、英語だけでなく、日本とオーストラリアが文化的に多く関わっていることを再認識できた貴重な体験となりました。

体を通して学ぶ 国内フィールドワーク

高2 A.O



私は国内フィールドワークで自然豊かな四万十に行き、様々な体験を通じて地域の方々の温かさや、現地の課題に触れることができました。美しい自然の裏側には過疎化や少子高齢化の深刻化、耕作放棄地の増加、生態系の変化などという、SNSの情報だけでは得られない現実を知り、物事の背景を理解することの大切さを学びました。現地で自分の体を通して学ぶことは、課題への関心を高められる重要な体験だと感じています。

「社会の中のわたし」を見出す—進路開拓

本校の6年間は、社会に出る前の準備期間です。この6年間の中で、一人ひとりが自分自身や、社会と向き合いながら、これからの社会の中でどう生きていくのか、夢や理想を見出していきます。そしてその理想実現に向けた力を蓄えていきます。

難関校への挑戦が進む

2025年度卒業生（2026年3月卒業）のGMARCH以上（国公立、早慶上理含む）の合格者の総数は140名に上りました。授業や各種講習、24年度より開室したアカデミックハブによる放課後学習支援等の取り組みが、生徒の進路開拓を支えています。

理系進学者は34%

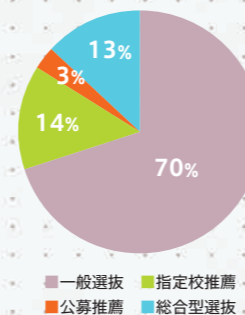
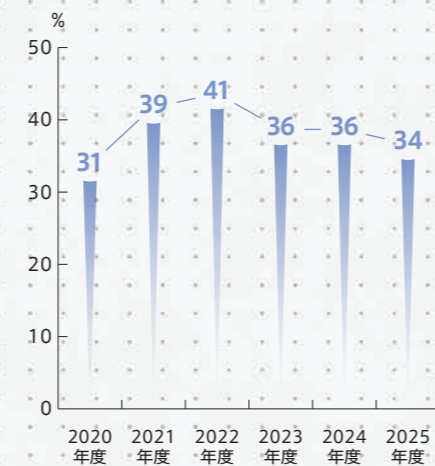
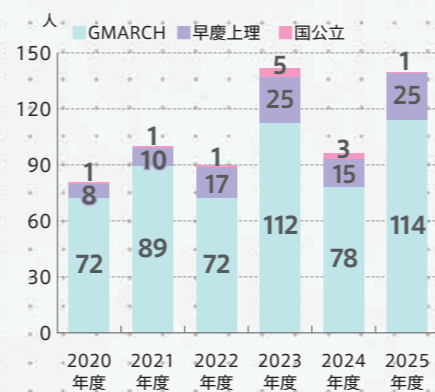
25年度の理系進学者は34%でした。進学先は、理工・情報系に20名、医療系に26名のほか、農、生命、環境、獣医等多岐にわたります。本校は例年30%台後半から40%程度が理系に進みます。25年度は例年と比較するとやや文系志望者が多い学年でしたが、理系進学者は例年に近い水準でした。

受験型別の傾向

25年度卒業生の受験型別にみた傾向で最も特徴的な点は、一般選抜の多さです。本校生が志望する大学の多くが、一般選抜の枠を大きくとる傾向にあります。そのため、一般選抜にチャレンジする生徒が毎年多くなっています。一方で、秋の段階で何らかの合格（指定校推薦、公募推薦、総合型選抜）を手にしていた生徒は49%でした。そのうち、21%の併願可能な生徒がさらに上位校合格をめざし、チャレンジした結果、一般選抜の割合が高い水準になりました。

2025年度卒業生の4年制大学への現役合格者数（抜粋）

国公立大学							
神奈川県立保健福祉大学		1					
私立大学							
早稲田大学	6	学習院大学	15	駒澤大学	20	麻布大学	3
慶應義塾大学	4	成蹊大学	1	専修大学	48	東京農業大学	7
上智大学	15	成城大学	12	北里大学	4	昭和女子大学	30
明治大学	12	明治学院大学	50	東京女子医科大学	1	津田塾大学	1
青山学院大学	9	國學院大学	4	昭和医科大学	5	東京女子大学	2
立教大学	45	武蔵大学	1	東京薬科大学	1	日本女子大学	16
中央大学	11	日本大学	14	東邦大学	4		
法政大学	22	東洋大学	42	芝浦工業大学	1		

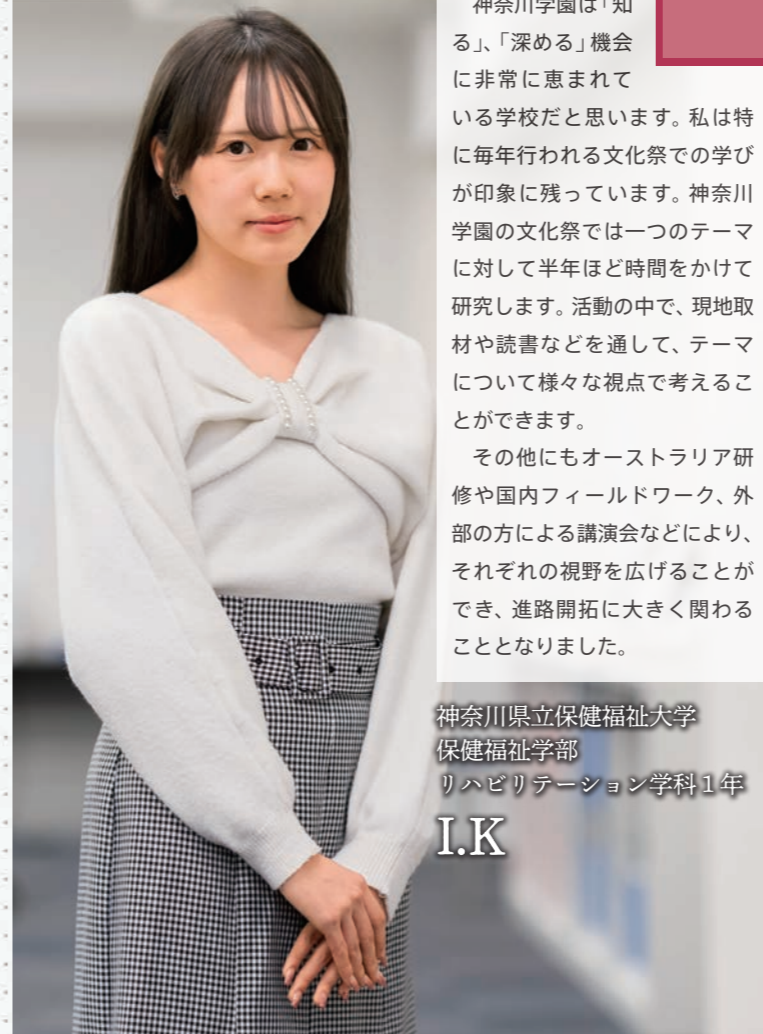


早稲田大学
文化構想学部1年

M.T

神奈川学園で過ごした6年間では、貴重な学びを数多く得ることができたと感じます。仲間との絆を築き上げた部活動に自分の問題意識と向き合ったフィールドワークや探究の授業、また、自分の世界を広げてくれたオーストラリア研修とニュージーランドでのターム留学など、どれも今の自分を構成するのに不可欠な経験だったと思います。普段の授業からも自分の興味関心を広げることができ、さらに様々な友人に囲まれてたくさんの刺激を受け、充実した学校生活でした。周りのみんながそれぞれの関心事を突き詰めていく中で、私自身も自分の関心を深め成長することができました。

Messages from Alumni



神奈川学園は「知る」、「深める」機会に非常に恵まれている学校だと思います。私は特に毎年行われる文化祭での学びが印象に残っています。神奈川学園の文化祭では一つのテーマに対して半年ほど時間をかけて研究します。活動の中で、現地取材や読書などを通して、テーマについて様々な視点で考えることができます。その他にもオーストラリア研修や国内フィールドワーク、外部の方による講演会などにより、それぞれの視野を広げることができ、進路開拓に大きく関わることとなりました。

神奈川県立保健福祉大学
保健福祉学部
リハビリテーション学科1年

I.K

慶應義塾大学
法学部 政治学科1年

Y.M

神奈川学園は中高一貫校であるため、6年間を通して落ち着いた環境で学ぶことができます。高校受験に追われることなく、自分の興味や関心を深める時間が確保され、主体的に学ぶ姿勢が身につきます。また、担任の先生と面談する機会も多く、自分から切り出しにくい場合でも、学習面や精神面での悩みを相談しやすい環境が整っていました。そのため、一人で抱え込むことなく安心して学校生活を送ることができ、勉学にも集中することができました。

私の学園生活は様々な方の支えのもと、とても充実したものとなりました。所属していたバレエ部ではスランプや振るわない試合の成績を、仲間と話し合い高め合うことで乗り越えてきました。引退試合で負けても6年間に努力し諦めずに続けてきた経験は大きな財産となりわたしを支えてくれています。さらに勉強面で不安に思った際、隣で勉強している友人や私にとっての最善策と一緒に考えてくれる先生方のおかげでメンタルを保つことができ、受験などの困難を乗り越えることができたのだと思います。

上智大学
外国語学部
英語学科1年

K.T



わたしが輝くもう一つの場所。

学年を超えて、同じ目標に向かいます。



運動部

運動部は全部で11団体。同じ目標に向かいながら、日々活動に取り組んでいます。技術はもちろん、人としても大きく成長する場です。

器械体操	新体操
水泳	ソフトテニス
卓球	ダンス
バスケットボール	バドミントン
バトントワリング	バレーボール
陸上競技	

Student's Voice

高め合い、学び合う

高3 N.O
卓球部



先輩、後輩と一緒に練習することで技術が向上したり、部内での試合で「先輩に勝ちたい」や、「後輩に負けたくない」など、精神力も高め合うことができました。また、練習の時に先輩からだけでなく、後輩から学ぶこともあり、互いに教え合うなど、先輩や後輩と良い関係を築けました。私はもともと卓球は1人で戦うものだと思っていましたが、どの試合でもチームのみんなの応援やアドバイスなどが必要であり、みんなの協力がなくて勝てないため、チーム全員で協力することの大切さを学びました。

文化部・同好会

文化部・同好会は全部で19団体。文化祭での公演や作品制作など、各部がそれぞれの目標に向かって努力を重ねます。

ESS	演劇
華道	軽音楽
コーラス	茶道
社会科	写真
手芸	書道
吹奏楽	生物
箏曲	美術
フォークギター	文芸
理化	料理

漫画研究同好会

Student's Voice

成長できる環境

高3 A.O
ESS部



私はESS部に所属していて、日々の部活では英語でゲームをしたり文化祭では英語劇を披露しました。初めは顧問のネイティブの先生が言っていることも理解できなかったのですが、日々の部活に取り組む中で段々と先生の話す英語が理解できるようになり、気づいたら英語でコミュニケーションを取るのが好きになっていました。さらに、視野や興味関心も広がり、英語を使った活動にも積極的に参加することができました。このように成長できたのは日々の部活で英語を当たり前を使うという環境が揃っていたからだと思います。



ほかにもあなたの輝く場所が。 クラス以外にも多彩なステージで活躍。

一人ひとりの意欲や興味関心に基づいて行う活動は部活動だけではありません。自分たちの生活をより良くすることに取り組む生徒会執行部や代議員会、各種行事の企画運営を行う実行委員会等の委員会活動。防災計画に関わる「チーム防災」や、マーシャル諸島共和国の方々との交流を行う「マーシャル・プロジェクト」等の自主的な活動。神奈川学園ではあなたの輝く場所が、クラスのほかに数多くあります。

●生徒会組織 (委員会)

執行部	
代議員会	
専門委員会	実行委員会
生活委員会	文化祭実行委員会
図書委員会	球技大会実行委員会
社会委員会	音楽会実行委員会
出版委員会	選挙管理実行委員会

●生徒自主組織

チーム防災
防災訓練企画や校内防災の取り組みを学校と協力して推進
マーシャル・プロジェクト
マーシャル諸島共和国コープスクールとの交流等
#青春PR部
学校説明会等に関わり、学校の魅力を外部に発信



こんな校舎で勉強しませんか。 毎日、楽しく安心して学べる、充実の環境。



【位置】横浜駅から歩いて約10分。周りは落ち着いた住宅街です。

【地盤】103年前の関東大震災でも木造校舎が倒れなかった、強固な地盤です。

【校舎】①中学生が生活するS館、②高校1・2年生が生活するN館、③管理棟でもあり高校3年生も生活するE館を始め、④体育館(G館)、⑤講堂(L館)、⑥100周年記念ホール、⑦西グラウンド、⑧室内プールなど、充実した校舎です。

【施設】全HR教室には電子黒板を設置。生徒は1人1台のChromebookを持ち、必要に応じて授業でも利用します。

【安全】2名の警備員と、校門などに設置した防犯カメラ、登下校見守りのシステムが生徒の安全を守ります。

【備え】万一の災害に備え、全校生徒が校内で3日間過ごせる非常食や全員分の寝具などを備えています。

【安心】平日5日間、カウンセラーが常駐する「そうだん室」があります。



校内には生徒に人気の魅力的な施設がたくさんあります。



楽しい経験、いっぱい。

神奈川学園の年間スケジュール

神奈川学園の1年間は、たくさんの楽しい行事にあふれています。
校内・校外でさまざまな人や社会・世界との出会いがいっぱいです。

I期 First Semester

I期は4月から8月まで。新しい担任の先生やクラスメイトと
出会う入学式・ガイダンスから1年がスタートします。

4 April
入学式 始業式 ガイダンス



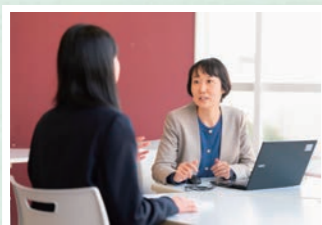
5 May
PA研修(中1) 生徒総会
小網代の森研修(中2)



6 June
球技大会
選択履修説明会(高1・高2)



7 July
三者面談 夏期講習



8 August
クラブ合宿期間
希望制海外研修(高校生/イギリス)



Students' Voices

誰もが楽しめる球技大会

高3 A.M



私は高2で球技大会実行委員に参加し、副委員長を務めさせてもらいました。主に「誰もが楽しめる球技大会」を目標に話し合いを行うなど様々な活動を通して、当日、なぜ毎年こんなにも盛り上がるのかを知ることができました。みんなでコツコツと練習を重ね、団結し、一人ひとりの情熱を感じる白熱した戦いが繰り広げられていました。上級生・下級生関係なく、みんなが一体となって成長していく姿が輝く行事だと思います。また近年導入された多種多様な応援グッズも注目ポイントです！

楽しみながら学べる文化祭

高3 K.N



神奈川学園の文化祭は、クラスで一つのテーマを設定し、調べたことをもとに展示発表をするのが特徴です。最近では、多くのクラスが展示だけでは終わらない、お客様にも楽しんでいただける体験を用意しています。お客様や生徒が文化祭を楽しみながら、同時に様々なことを学ぶことができます。私はこれまで文化祭実行委員として文化祭に携わり、来てくださるお客様に居心地が良いと感じていただけるような、神奈川学園らしい文化祭づくりを心がけてきました。

II期 Second Semester

II期には学園最大の行事である文化祭を始め、さまざまな
研修行事がめじろ押し。楽しくてワクワクする経験にあふれています。

9 September
進学説明会(中3)
文化祭

学園最大の行事 文化祭



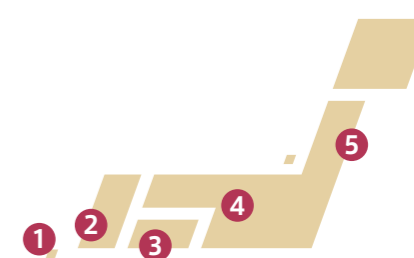
10 October
進路講演会
全校図書講演会
TGG研修(中1)

11 November
1日研修(中1・中3) 国内英語研修(中2)
国内フィールドワーク(高1)
学習合宿(高2) 中学音楽会

12 December
冬期講習

現在の日本の姿を知り、課題について考える。

国内フィールドワーク(5方面)



- ① 沖縄
 - ② 水俣
 - ③ 四万十川
 - ④ 奈良・京都
 - ⑤ 岩手・宮城
- 訪問先は①～⑤のいずれかで決定します。

1 January
20歳を祝う会(卒業生)
ターム留学(高1・希望制)
特別授業(高3)



2 February
生徒総会

3 March
海外研修(中3/オーストラリア)
卒業式 終業式



A Day in the Life of KG Students

私たちの1日 毎日が楽しくて、あっという間！
そんな私たちの1日をご紹介します。

毎日、「新しい出会い」がいっぱい!!

朝から集中力UP!!

電子黒板は見やすくとても便利!

軽食時間もあるよ! ちよっと栄養補給!

家庭科の授業で石けん作りに挑戦!

神奈川学園で待ってるよ!

8:25 朝読書
朝は読書からスタート! 読む本は自由に決めることができます。

8:40 朝のHR
おはようございます!

8:50 1時間目
授業の始まりは8時50分から。全HR教室に設置された電子黒板も学びをサポート。

9:45 2時間目
今日の体育は元気に西グラウンドでランニング!

10:40 3時間目
英会話の授業はクラスを3つに分けて少人数で。

11:35 4時間目
わからないことは先生になんでも質問します。

12:20 昼休み
生徒に人気のパンやスクールランチの販売が!

13:05 5時間目
理科は実験・観察が中心。体験を通して知識が身につきます。

14:00 6時間目
生徒一人ひとりがChromebookを活用しています。

14:55 7時間目
今日の英語はグループ学習。楽しみながら英語を学びます。

15:40 帰りのHR・掃除
朝集めたDiaryが返されます。班ごとに教室などを掃除します。

15:50 放課後
今日は友だちと一緒にKGラウンジで自習をしました。

15:50 部活動
運動部、文化部、同好会に参加している生徒は80%を超えています。

18:00 最終下校
※放課後自習室もあります。中学生は19:00まで、高校生は20:00まで

時間割	
8:25 ~ 8:40	朝読書
8:40 ~ 8:50	朝のHR
8:50 ~ 9:35	1時間目
9:45 ~ 10:30	2時間目
10:40 ~ 11:25	3時間目
11:35 ~ 12:20	4時間目
12:20 ~ 13:05	昼休み
13:05 ~ 13:50	5時間目
14:00 ~ 14:45	6時間目
14:55 ~ 15:40	7時間目
15:40 ~ 15:45	帰りのHR・掃除
18:00	最終下校

制服紹介!

中学生は、伝統的なセーラー服です。
高校生の冬服はジャケットとネクタイのスタイル、夏は開襟ブラウスの軽快な装いです。

中学生

夏服とカーディガン

夏服 (ポロシャツ/ネイビー)

夏服 (ポロシャツ/白)

冬服 (スラックス)

冬服 (スラックス)

高校生

夏服とカーディガン

夏服 (ポロシャツ/ネイビー)

夏服 (ポロシャツ/白)

夏服 (半袖)とベスト

冬服 (半袖)とベスト

冬服 (スラックス)

冬服 (スラックス)

中高共通アイテム

夏用カーディガン 紺・白

冬用カーディガン

冬用コート

高校アイテム

夏用ベスト/紺・白

夏用スカート チェック柄

夏用スカート 無地